

令和5年度 現地検討会実施状況

(治山技術の向上)

開催数：5

		(名)
国有林		68
都道府県		0
市町村		2
森林組合		3
林業事業体（森林組合を除く）		0
研究機関		7
その他		14
合計		94

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画を推進するための治山施設の改良の検討	7月4日	日高北部森林管理署 平取町アイヌ文化振興公社	平取町内 亜別国有林、仁世宇国有林	国有林 4名	治山ダムを改良することで、魚類の繁殖・生息環境を改善し、シマフクロウが生息できる北海道古来の森林を再生する。	左記目的を達成するための関係者との合同によるアベツ川及び仁世宇川の治山ダムや河川環境の現況調査を行った。併せて、振興公社が設置した市民魚道についても現地確認をした。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 4名			
				その他 3名			
合計 11名							
治山工事現地見学会	9月15日	網走西部森林管理署	2118林班（10号の沢）、 2109林班（野宿の沢）、遠軽町丸瀬布天神町54（丸高産業（株））	国有林 4名	遠軽地域森林整備推進協定の取組として、協定者が連携、協力して森林管理技術の向上を目指す。	2118林班（合正工施工箇所）では治山事業の目的や内容、治山ダムの機能、治山ダム工事の各工程について説明を行い、参加者と意見交換を行った。 2109林班（流木捕捉工施工箇所）では、流木による災害リスクとその必要性、また森林土木工事において木材を積極的に利用している経緯や木材の使用例について説明を行い、参加者で意見交換を行った。 土木資材製造元の製材工場見学では、各製造工程の見学を行い、参加者と意見交換を行った。	  
				都道府県 名			
				市町村 2名			
				森林組合 3名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
合計 9名							

中央上：2118林班での現地説明の様子
左下：2109林班での現地説明の様子
右下：製材工場での説明の様子

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
防風林意見交換会	9月27日 ～ 9月29日	石狩森林管理署 網走南部森林管理署 網走中部森林管理署	網走南部森林管理署 (1114林班外) 網走中部森林管理署 (2294林班)	国有林 10名	北海道森林管理局管内で行われている先進事例地を見学するとともに、事業担当者と意見交換することにより、当署の防風林管理技術の向上につなげる。	近年、隣接している耕地が所有者からの枯死木の倒木や落枝等の処理について要望があることから、その解消に向け、同様の問題を抱えている網走南部署・網走中部署と耕地防風林における森林施業について意見交換を行った。 参加者からは「網走南部署のように防風林外縁部に管理道を作設する場合、農業水路の横断、また、管理道作設時期との森林施業の時期をどのように結びつけ、計画的に実施するか」等について有意義な意見交換ができたと好評であった。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体(森林組合を除く) 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 10名			
令和5年度治山現地検討会	10月17日 ～18日	主催：北海道森林管理局治山課	国有林	国有林 47名	近年の労働者不足や効率的な事業実行に対応するためICT施工を積極的に推進している。治山事業の現場は主に山間で条件は厳しいが、国の機関として率先してICT化に取り組む必要があることからICT活用工事について技術・知識の向上を図るため。	上川南部署パンケニニウ治山工事現場にて、施工業者による、ICT施工を行う手順や使用する機器の説明とICT対応の機械について、製造メーカーからの説明とデモンストレーションを行った。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体(森林組合を除く) 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 47名			
沙流川土砂動態現地勉強会及び合同調査	11月1日	鶴川沙流川河川事務所/土木研究所寒冷地土木研究所	日高町千栄国有林ほか	国有林 3名	沙流川水系における流砂系の総合土砂管理に資する。	沙流川水系における総合的な土砂管理に関する研究成果の紹介と現地検討。当署からは、平成28年の台風災害の復旧治山事業や林道復旧箇所の紹介を行った。また、北海道電力日高水力センターから国有林内の最上流域に設置している取水施設等の紹介があった。当署管内は、風化蛇紋岩の地質が多く、地すべりリスクが高いことについて寒冷地土木研究所の研究員から指摘があり、地すべり地形の確認等も行った。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体(森林組合を除く) 名			
				研究機関 3名			
				その他 11名			
				合計 17名			

ICT施工の手順等について、資料やICT機器を用いて説明